

配当について

当社は、企業体質の強化を通じて収益力の向上を図り、安定的・継続的に配当を実施することを考慮しながら、業績に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。内部留保金につきましては、長期安定的な経営基盤を確立し、更なる成長に向けて国内事業拠点網の拡大やM&A等に有効活用してまいります。当期の期末配当金は1株につき20円とし、前期から据え置きとさせていただきます。

株主優待について



※株式分割について
株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を目的に、2017年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割しました。
※1株当たり配当額は株式分割を考慮した上で遡及修正しております。

基準日	保有株式数	優待内容	発送時期
6月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 2,000円分	9月下旬
12月末日*	100株以上	当社オリジナルクオカード 1,000円分	3月上旬

※2017年12月末日より実施いたしております。

会社概要

2019年6月30日現在

社名 株式会社ユニバーサル園芸社
 設立年月日 1974年2月1日
 資本金 172,770,000円
 従業員数 連結777名(うち海外286名)
 (注)パート従業員を含んでおります。
 グループ会社 ビバ工芸株式会社
 株式会社花守花の座
 株式会社高島屋植物園
 園芸ネット株式会社
 上海寰球園芸産品租賃有限公司(中国)
 上海香奇园艺有限公司(中国)
 ローリング・グリーンズ・インク社(米国)
 ミラー・ジュ・グリーン社(シンガポール)

株式の状況

2019年6月30日現在

発行可能株式総数.....16,000,000株
 発行済株式の総数.....5,025,000株
 株主数.....5,077名

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
森坂 拓実	692,720	14.4
森坂 幸子	594,000	12.4
カーン 園子	528,000	11.0
ユニバーサル園芸社社員持株会	509,200	10.6
森坂 優子	341,080	7.1
ユニバーサル商事有限会社	226,600	4.7
大和リース株式会社	200,000	4.2
株式会社東邦レオホールディングス	140,000	2.9
日泰サービス株式会社	126,000	2.6
岡山フードサービス株式会社	80,000	1.7

(注) 1. 上記のほか、自己株式が220,484株あります。
 2. 持株比率(%)は、自己株式を控除して計算しております。

役員

2019年6月30日現在

代表取締役社長 森坂 拓実
 取締役副社長 安部 豪 (管理本部長)
 常務取締役 西川 道広 (関東事業本部長)
 取締役 片岡 義雄 (関西事業本部長)
 常勤監査役 稲治 由之
 監査役 井関 新吾 (社外監査役)
 監査役 桑 章夫 (社外監査役)

株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
 定時株主総会 毎年9月開催
 基準日 定時株主総会 毎年6月30日
 期末配当金 毎年6月30日
 中間配当金 毎年12月31日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 株主名簿管理人 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話照会先 ☎ 0120-782-031
 公告方法 当社ホームページに掲載
<https://www.uni-green.co.jp/>

お知らせ

[住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について]
 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

第46期 株主通信

2018年7月1日～2019年6月30日



株主・投資家の皆様には、平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社グループ第46期の概況について、ご報告申し上げます。

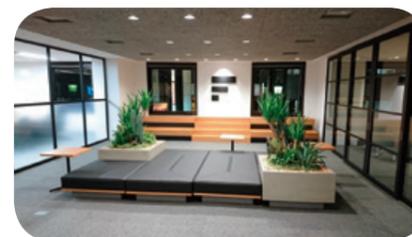
代表取締役社長 森坂 拓実

私たちは、「緑のプロフェッショナル」集団です。

当社グループは、人と自然の調和・共存をテーマに快適な都市空間づくりを提案する「緑のプロフェッショナル」として観葉植物のレンタルをはじめ、人工樹木とアートフラワーアレンジメント、ランドスケープといったさまざまなアメニティ創造を、ソフトとハードの両面からサポートしております。今後も総合園芸会社である強みを活かして、時代と空間、そして景観にふさわしい彩りと自然の和みをご提供してまいります。

グリーン事業

オフィス、商業施設、ホテルなどへ観賞用植物やアートフラワーなどをレンタルで提供、ギフト商品、生花、季節商品などを販売しています。また、建築物の外構・庭園などの造園工事、植栽管理を中心に、屋上緑化等も手掛けております。



小売事業

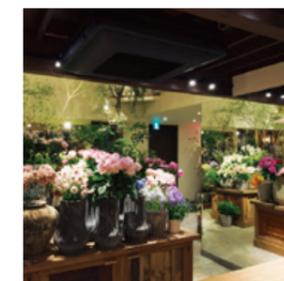
個人顧客向けのガーデンセンター、グリーン・フラワーショップ、カフェ、ネット通信販売を展開しております。



the Farm UNIVERSAL



Ricoche 北と緑と観葉の彩る「うこし」



Fleur Universelle



卸売事業

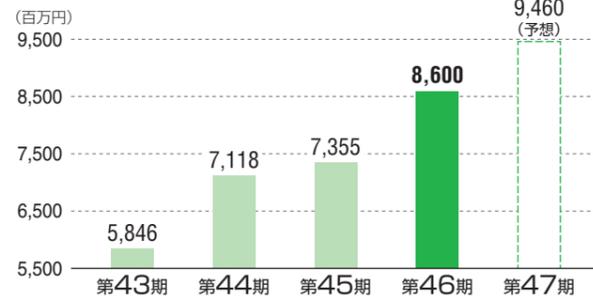
観葉植物、鉢花、造花、エクステリア資材を卸売しております。

決算ハイライト

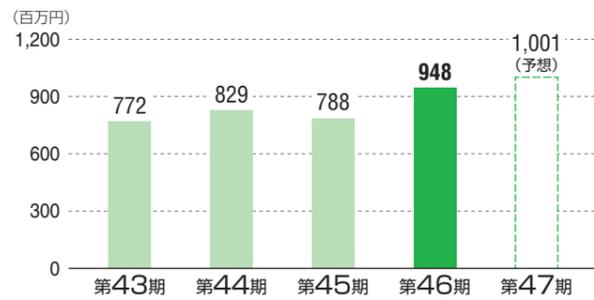
第46期のポイント

主力事業のグリーン事業において、レンタルグリーンにおける新規顧客の獲得や販売促進のためのマーケティング活動に引き続き注力したほか、園芸ネット株式会社を連結子会社とし、生花店及び園芸雑貨店に新たにネット通信販売との相乗効果を図り増収増益となりました。

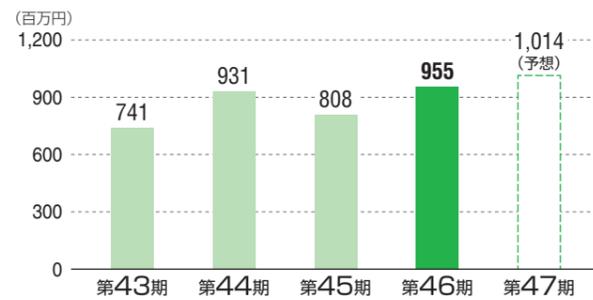
売上高



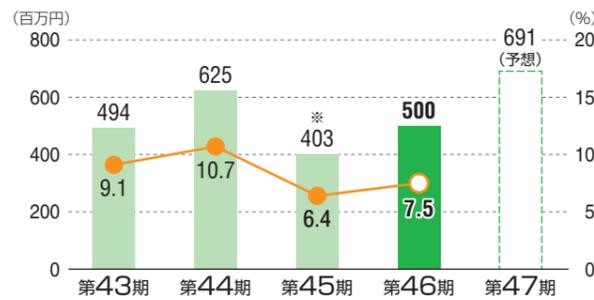
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益/ROE



※第45期の親会社株主に帰属する当期純利益は、米国の税制改革法の成立に伴い米国子会社において、将来の税負担軽減を見込んで連結貸借対照表に計上していた繰延税金資産を取り崩すことによる税金費用が増加したことにより(125百万円)減少しております。

セグメント別の概況

グリーン事業

米国子会社のローリング・グリーンズ・インク社の収益改善に取り組んでおりますが、のれんの一部の減損損失を計上しております。なお、国内は引き続き景況感の緩やかな需要回復が進み、契約数の増加により増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は6,140,788千円(前期比14.4%増)、営業利益は825,738千円(同17.6%増)となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは20.7%(前年同期21.6%)、関西エリアは23.8%(同23.5%)、海外エリアは△3.9%(同△7.2%)となりました。

卸売事業

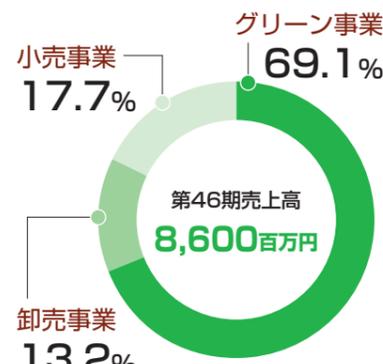
販売先の拡大等の営業強化に引き続き取り組み、増収増益となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は1,171,764千円(前期比19.8%増)、営業利益は104,388千円(同10.7%増)となりました。

小売事業

第2四半期連結会計期間より園芸ネット株式会社を子会社化したことや、母の日や季節的要因により増収となりましたが、引き続き設備投資の償却負担が回収できなかったこと等によりセグメント損益は損失となっております。以上の結果、当セグメントの売上高は1,575,053千円(前期比38.4%増)、営業損失は11,970千円(前期は31,326千円の営業損失)となりました。

※各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

セグメント別売上高構成比



※セグメント間の内部取引高を含めた比率で表示しております。

新時代を拓く

成長戦略

将来目標

2026年6月期

- 売上高 **300億円**・経常利益 **30億円**
- **既存事業**の拡大
- **支店**の増設
- **the Farm**の拡張
- **M&A**の継続によるグループの増進
- **海外へ**地域拡大



TOPICS

東京本社・大阪本社ショールーム化

東京本社・大阪本社のオフィスを改装し、ショールーム化しました(下写真 東京本社オフィス内)。



シンガポール進出

2018年6月にMIRAGE GREEN (SINGAPORE) Pte. Ltd. (ミラージュグリーン社)の発行済株式の75%を取得し、子会社化しました。当連結会計年度より売上に寄与しております。

東京中央支店開設

2018年8月にグループの主力事業であるレンタルグリーン事業の拡大を目指し、首都圏における営業活動の効率化等を含め、東京都江東区に支店を開設しました。

園芸ネット株式会社の子会社化

2018年10月に、園芸関連商品の業容拡大、成長のため園芸におけるネット通信販売において国内では先駆者的な存在である園芸ネット株式会社を子会社化しました。(通販サイト <https://www.engei.net/>)

the Farm OSAKA いちご園 OPEN

2019年1月に、大阪府茨木市にあるthe Farm UNIVERSAL内に新しく、いちご園「Strawberry Farm No.15」がオープンしました。2019年12月に同施設内に2号店をオープン予定です。